

マイバッグ持参運動

キャンペーン



今年も秋留台高校1年生と共に

6月5日(火)、12日(火)の2日間、14:00~16:00、アルプス・いなげや・オザム・とうきゅう・パークの5店舗の協力を得て行ないました。

今年の特徴は次の2点です。



特徴1

参加生徒への事前説明に力を入れました。

この運動の主旨をよく理解した上で参加してもらうこと、これをきっかけとして自分自身のごみを減らす生活への一歩を踏み出してもらうために、説明に1時間をかけました。

生徒の感想(1)

ゴミを減らすソウ作戦の説明を受けた時、「頑張ろう」と決めました。私はこの作戦に賛成です。ゴミ袋はいろんな問題を引き起こすからです。私も自分がやったボランティアをいかして行きたい。

生徒の感想(2)

一番嬉しかったのは、マイバッグを持ってきている人が「持つてるわ」と言ってみせてくれたことです。私は一人一人がレジ袋をムダに使いすぎないように心がけていけば、ムダな石油を減らすことができるんじゃないかと思えます。私も買い物に行く時は、なるべくレジ袋をもらわないようにしたいと思います。

生徒の感想(3)

このボランティアをするにあたってのポイント、実際に店員になつたつもりで配る、ということでした。このボランティアをおえて、人のためになることの良さと、ムダになっているゴミの重大さがわかりました。この活動によって、マイバッグを持参してくれるお客さんが増えたらいいなと思いました。

生徒の感想(4)

Mッ袋を持ってきている人はせいぜい4、5人だろうなあと思いました。でも、やっているうちに「けっこう持つてきている人が多いんだなあ」と思いました。このボランティアをやったから、自分の家から布袋をもつていたり、ジュース一本で袋をもらっていたケド、今は、もうのをやめました。私はこのボランティアをやったよかったと思えました。

生徒の感想(5)

初めはメントクサイと思いがちでしたが、なれてくると楽しく2時間なんてあっという間に終わってしまつてとてもビックリしました。私の家でもマイバッグをもって買ものをしているの、もっと多くの人にマイバッグの持ちこみ、活用してもらいたいと心から願っています。

特徴2

マイバッグ持参率調査を行いました。

その結果は、
パーク**69%**
その他の4店舗平均**23%**



昨年10月、レジ袋有料化に踏み切ったパークの持参率が著しく高いことがわかりました。レジ袋削減のために何が必要かを教えてくださいました。



ごみ削減の いろいろな活動

『レジ袋85%削減』

来店者、売上高は増加！！

(平成19年6月26日)

パーク商事(株)によるレジ袋有料化報告会を開催



あきる野商工会との共催事業として、商工会会員の事業者の皆さんを対象に、パークショッピングセンターがレジ袋を有料化してからのレジ袋の削減率や、経費の削減実績などをパーク商事(株)営業本部長、三浦修二さんより発表してもらいました。

ダンボール方式のPR

廃棄物減量等推進員の皆さんにダンボール方式による生ごみ減量講習会を行う！(平成19年3月20日・27日)



ごみ会議委員佐野副会長により、ダンボール方式による生ごみ減量方法を実演を交えて行いました。「毎日生ごみを投入し、かきまぜるだけで分解して消えてしまう」という説明を、参加した推進員の皆さんは興味深そうに聞いていました。

興味のある人は、お近くの推進員さんか市役所環境課へお問い合わせください。廃棄物減量等推進員さんてどんな人？

…町内会、自治会から推薦された人に対し、市長が委嘱しています

リサイクルフェアにて「ダンボール方式説明会」と「古着(布)リメイク作品展示」

(平成19年5月26日)



70名ものお客さんが来てくれました



展示されたりメイク作品